

学校目標	「風雪に耐えよ」の校訓のもと、文武両道、伝統と品格、世界に羽ばたく両中生
目指す学校像	○生徒・保護者・地域から信頼され、学び舎として魅力にあふれ誇りがもてる学校
目指す子供像	○自ら考え、判断し、行動できる生徒 ○やさしく思いやりがあり、たくましく生きる生徒 ○きまりや規律を重んじ、社会生活に適應できる生徒
目指す教師像	○生徒の関心・意欲を高める魅力のある授業が展開できる教師 ○生徒の心に寄り添いながら指導できる教師 ○生徒とともに汗し、自己を高めることができる教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	生徒による授業評価のアンケートをもとに、教員の授業改善を進めていく。また、学力向上推進委員会を中心に、振り返りや確認テストなど学力向上への取組を行っていく。	B	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	放課後学習について、昨年度に比べると参加人数が増えた。今後も増えるよう、振り返りシートの活用も引き続き行っていく。	B	B
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	昨年度導入されたキャリアパスポートを生かしつつ、3年間を見据えた効果的な進路指導・キャリア教育を計画的に行っていく。	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	今年度、「見方・考え方を働かせた授業」をテーマに、各教科2回ずつICTを活用した研究授業を実施した。生徒がタブレットを生かし、授業で活用できるように、実践を重ねている。	B	B
	学校は、主体的な学びと家庭での学習習慣を確立しているか。	C	今年度も引き続き、検定前の学習会について、外部人材の活用も行い、参加人数も向上した。来年度も継続していき、合格率の向上を目指す。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	○授業評価の高い教科の実践を共有してほしい。 ○評価評定の基準をより明確にする。 ○職場体験ができないのが残念だが、新しいやり方を考えていることはよい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	生徒は落ち着いて学校生活を送っていると考えられる。生活のきまりの見直しをはかり、組織的な指導・積極的な指導を心懸けていく。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	道徳の授業やいじめ防止授業等の心の教育について、外部人材を活用するなど、さらに充実をさせていく。	B	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	避難訓練については、おおむね適切に行うことができたが、今後は様々な状況に対応していきたい。プロジェクト学習の防災テーマとタイアップしてさらに意識向上に努めたい。	B	A
	学校は、不登校・登校しぶり生徒を解消しているか。	B	学年や学校全体で情報共有し、丁寧に対応を行う。担任任せにせず、今後も教育相談機関との連携の充実を努める。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	○保護者意見にある学校のきまりについての見直しを行ってもよいと考える。 ○不登校生徒対応に外部人材の活用やICT活用によるサポートも考えてほしい。			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	昨年度同様、保護者が直接、生徒の活動の様子を見る機会がなかった。今後も、ホームページや学校連絡システムを活用し、情報発信を行う。	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	アンケート結果を迅速に分析してニーズを把握するとともに教育活動に反映できるよう努力する。アンケートについては、電子化を進めている。	B	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	今後も継続して、教育環境の整備に努める。	A	A
	学校は、体罰、個人情報漏洩等の服務事故を防止しているか。	B	機会あるごとに、教職員に対してサービスの厳正について意識させ、日頃から服務事故が起こらない環境を維持するよう努力する。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	○引き続き教育環境の整備に努めてほしい。 ○学校連絡メール（COCO）の導入はよい取組である。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	A	学年だよりの日頃の教育活動記事を充実させる。HPの更新頻度を上げる	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	対面での活動を避けつつ、内容を精選して活動の場を設けている。	B	B
	学校は、両中ブロック小学校3校、連携幼保園との学びの連続性を重視した交流活動を推進しているか。	C	次年度は分科会前後の打ち合わせや、定例会など情報共有の機会を増やす。	C	B
	学校関係者評価委員会の意見等	○学校連絡メール（COCO）でのお知らせ配信が便利とのことです。 ○来年度以降、地域とのつながりを再度築していければと思います。			

2 令和3年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートや生徒による授業評価ともに、質問に対しての肯定的な回答が80%以上のものがほとんどで、学校関係者の評価は各項目についてほとんどが「努力しようとしている」との結果であった。昨年度より学校関係者の評価は下がったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため制約を受けた教育活動の中で本年度も良好に近かったととらえている。</li> <li>・各項目の中で課題があったものは、服装・持ち物のきまりに関することである。次年度に向け、引き続き学校のきまりの見直しの検討を行っていきたい。また、主体的な学びと家庭学習、幼保小中の学びの連続性について自己評価の中で課題となっているので、改善していく必要がある。</li> <li>・来年度は、再度、保護者・地域と学校がよいコミュニケーションをとり連携できるように、引き続き教育内容の充実のための意見をいただき、改善と充実を図っていく。</li> </ul>
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立両国中学校 校長 渋谷 俊昌